

福總新聞

（毎月十五日）一回
定價 郵税 五圓 月廿錢
廣告料 報費 五十錢
發行所 福總新聞社
市島 三

激闘、亂戦其極に突撃せし 普選第二次の選挙の決算

日は刻一刻と迫る

安全と樂觀せし比佐氏

俄然一變して形勢險惡となる

現内閣は憲政常道論より其支持せる政友少數党なるが故に議會を解散し其信任を國民に問ふたのである。

是れ最も意義ある、普通選挙の第二次は、普選の殊勳者たる濱口内閣の下に於て二月二十日決行されるのである。其選挙宣傳のメロウガンは、實に面白く珍妙なり、朝、野兩党の主張は、政友會の犬養氏は今日から好景氣へと。

濱口氏は、明日から好景氣とである。

急製品と、既製品とに區分される譯けであるが、冷静の頭腦を以て八千萬の同胞は果して何れを信頼するであらう。

夫れは二月二十日、投票に依つて國民の總意は如何に反映するか、公平無私なる正義の神は如何に審判を下すのであるか？

本郡民政黨は此の政戦に前代議士比佐昌平氏を公認に擁立し、三度中央政界に送らんとしたのである。

三度國家の代議士として同氏を

方遠山の嶺に掛けなん、霞の衣を用意して、そこはかたなく忍び寄るけりである。

だが、茲に哀れを止めたのは今流行の代議士病患者の群である、雪解けの泥濘を蹴つて或る者は演說會の壇上に聲をからして、或るものは、暮夜密かに甲某乙某の裏門を叩いて不浄の一票を哀願し、或る者四苦八苦の軍資金調達に凡ゆる義理と人情とを一緒に蹴飛ばし、或る者は二割、三割の高利にやがて泣く日を豫想しつつ、無理を押し通す。

三句の水きりと夜を、煩悶、懊惱の裡に心氣を疲らせた後愈々開けた地獄の釜ならぬ、投票箱の蓋、選挙民の御機嫌取りがウマク行かず、實弾にこめた火藥のグラム量が少かつたら最後、法定數に足らぬとあつて、血と涙の金二千圓も沒收？

かち得たり一陣笠の榮冠、議會では彌次專問の賣名策を、待合では代議士の肩書付き名刺を、やがて虚名を焦り、虚位を擁し、役員の上席に名を列ねる様にもなれば、始めの熱情と眞實さは何處へやらだ政友墮落地獄の惡因縁に引き摺り込まれて、掻き集めたる不浄の財、數萬、數百萬？照魔鏡裡に恐れ入り、醜名を千載に残すに至る。

運動して、叩頭して、哀願して、代議士になる間は、議會政治の徹底的改革は到底望まれない、吾人は敢然として、自分の信頼する明かるく清き政治家に、自分の「一票」を投じやう。

四聞八觀

汗ぞろ、血ぞろの政戦も五日後には決算されん。賣名を目的とし、利權を漁る臭々たる偽紳士を決して選挙するな。

神は正義に立脚したる人格者のみに光榮ある代議士の冠を惠み給ふと。

我田引水の感あり。

政友會曰く「濱口内閣の政策は産業衰退、國富減少、不景氣深刻、失業續出」等である。復た曰く「政友會をして内閣を組織した今日から、即ち産業興隆、國富増進、景氣挽回生活安定日」なりと。

嘗て若槻内閣が倒れて波の田中反動内閣の現出の實例があるのではありませんか。木堂さん。

不渡の約束手形の實際化は田中反動内閣の潰滅で國民は記憶し居ります。

候補者月旦

比佐昌平氏

「吾黨の政策を貫徹する必要上議會を解散したんだ。政黨政治は絶対多數を要するのでこれを民意に問ふのが今回の選挙で、私は此の意味から、吾黨の政策實現と地方の發展に貢献すべく選挙に臨んでる」と比佐昌平氏は第三區の山野に斯く呼びかけてる。

曾て大隈侯の寵愛を受けたが、若い比佐氏も兎に角老侯張りである、石城郡湯本町の出身で四十歳とあるからには油ののりきつた働き盛りの年輩であらう、野崎滿藏氏一派に分裂し、その結果比佐派にも多少の打撃を與へたが、湯

實行の範を示して樂しく美食の出来る政府を組織せよと申すのみ、阿々。

油斷大敵だ、馳緩の副産物としての賜物か。

比佐氏を支持する人々々々、悲壯なる覚悟で猛運動を起せ、起して必勝を期せ。

有権者諸君よ、一票を無駄に行使するな。

最も有効に普選の殊勳者に必ず送れよ。

其紙く他新聞の記事編輯を〇〇するが、冷静なる第三者は彼れを嘲笑す。

レシーバー

東部車で横暴だわ、ワタイの家を集金員が來なかつて滞納を知らんで居ると突然の送電中止は非道でせうよ（田町女）

先日、或る演說會で何んとか申す辯士が金解禁と満解禁と間違つて大風呂敷を掲げたつ（町民）

自動車の速度は雨の日丈けでも何んとかならぬものですか、運轉手諸君よ「右側通行」出すな（小吏員）

町議諸君、電燈料値下は龍頭蛇尾か、結果が出來ぬか肩書が笑ひます。（立町の奇人生）

その學識と雄辯とは勿論大隈侯に據つて今日をなした比佐氏は、更に學生時代より政治運動を始めた關係で、故河野龍州翁に私淑し、又故翁も深く比佐氏を愛育した結果現在的人格、即ち清廉であり潔白であり更に強固なる意志の持主として一世にその名を謳はるゝに至つたのは實に龍州翁の賜として何人もよく之を知る處であらう。

斯く觀じれば比佐氏の全人格は實に大隈侯と龍州翁との二大偉人が渾然融合したものであると斷定しても過言ではあるまい。我等はこの偉大な少壯政治家の前途に洋々たる希望を囑し、その戦勝を祈つてこの短文を終る。

比佐危しとの報來る

比佐昌平君を援助せよ

正義の闘士、小磐州の尊稱ある人格、學識、抱負、經倫、共其の代表として足る昌平比佐前代議士をして三度、中央議政壇上に送りて國家の代議士とせよ。超越したる湯本町の結束は實に賞揚するに過大なる美談である。



立憲民政黨公認候補者 比佐昌平君

全區民よ、全力を擧げて比佐昌平君を支持せよ。尊く、清き一票は、比佐君を支持せよ。而して明かるい、清き政治家を中央に送れ。大なる意義を有する、來るべき二月二十日の選舉日には最大の信頼ある比佐昌平君に必ず一票を行使せよ。比佐昌平君を支持せよ。

責任者 石城郡平町字南町七一 若松美三

敢て各位に懇願す

▲五十七議會解散に伴ふ
意義ある普選第二次の總選舉期日は、愈々數日の後に迫りました。
我が石城郡より事實上に於て三名の立候補を見るに到つた爲吾等の常に敬愛措く能はざる立憲民政黨公認候補者 **比佐昌平先生** は今や非常の窮境に苦戦に陥つたのであり、而かも **比佐先生** の當落は一に平町有権者各位の向背如何に據つて決すると思ひます吾等は **ドーシテも比佐先生** をして三度議政壇上に送り、邦家の爲め渾身の努力を致さしむる事が、吾等の最大の責務と使命であるまいかと思ひます。
冀くは吾等が常に、畏敬し信愛せる平町有権者諸賢各位、何卒深甚の御同情と御後援を賜はり、大多數を以て當選の榮を荷はせしむる様切に懇願する次第であります。 敬具
二月十五日 (イロハ順)

- 萩原義雄
- 吉田寅之輔
- 吉田五平
- 吉村安次郎
- 武田元之助
- 永山富廣
- 荒川淺次郎
- 佐藤岩次郎
- 櫻井清

責任者 平町極道小路一番地 吉田五平

文部大臣認可

平陽女學校入學案内

募集人員

- 本科第一部 二ヶ年卒業 五十名
- 本科第二部 三ヶ年卒業 五十名
- 技藝高等科 二ヶ年卒業 五十名
- 同 專攻科 一ヶ年卒業 三十名

入學資格

- 本科第一部 高等二年卒業若クハ之レト同等以上ノ學力ヲ有スルモノ。但シ本科第二部ノ卒業生ハ特ニ第二學年ニ編入ス。
- 本科第二部 尋常小學校六年卒業若クハ之レト同等以上ノ學力アルモノ。
- 技藝高等科 高等小學校卒業若クハ之レト同等以上ノ學力ヲ有スルモノ。但シ高等小學校ヲ卒業シ相當ニ裁縫ノ素養アル者ハ證衡ノ上ニ二年ニ編入ス。

技藝專攻科

- ◎四月四日午前十時入學式舉行
- ◎學則請求ノ方ハ郵券二錢封入ノコト

平陽女學校

文部大臣認可 福島縣平町(電話四四五番)

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

諸橋久太郎 電話九番・一三九番

鯉節・蒲鉾製造 折詰類仕出し

藤市鉾蒲店

遠藤市松 平町二丁目(電話三〇五番)